

# 安全衛生の取り組み



(有)セレクトクリーン

## 【当社の概要】

所在地：一関市狐禅寺字手負沢 4 9

昭和47年創業

従業員：17名（2020年7月末現在）

パート：3名

### ・業務内容

一関市の一般廃棄物委託回収

事業系一般廃棄物の収集運搬

産業廃棄物収集運搬

浄化槽の維持管理

工場や給食センター等の排水処理施設の維持管理

## 【取り組んでいること】

- 日々の体調管理  
→検温・アルコールチェック
- 乗車前の始業前点検  
→マニュアルに従って確認
- 乗車後の洗車（毎日）
- 定期整備（月1回）
- 社内研修の実施
- 安全運転に関する情報提供
- 集積所の見える化

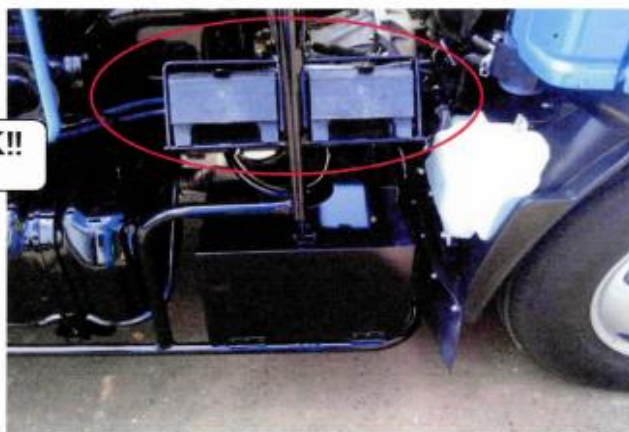
# 始業前点検の手順書

## 始業前の動作点検...の前に

### 1 歯止めは有りますか？

歯止めの有無を確認後、タイヤに歯止めをセット！！

歯止めOK!!



### 2 作動油は適量入っていますか？

作動油OK!!



### 3 チェーンは緩んでいませんか？

チェーン上側

チェーン下側



チェーンOK!!

### 4 汚水タンク内に水が残っていませんか？

汚水タンクOK!!



汚水タンク内は閉めましたか？



### 5 消火器の取付に緩みはありませんか？

消火器OK!!



\* 図があるとわかりやすい！



## 車両整備

- ・自分たちが使う車は自分たちで整備  
→使用する車に対して責任を持つ

## 職員に毎月配布している 安全運転に関するニュース

インターリスクニュース  
 <人> 車 道路  
 8月の安全運転のポイント 2020年8月号

交通の安全を確保するために、道路交通法において、車が一時停止又は徐行をしなければならない場所や場合がいくつも定められています。そこで今回は、一時停止又は徐行をしなければならない主な場所や場合についてまとめてみました。

**一時停止しなければならない場所や場合**

**一時停止しなければならない場所**  
 一時停止しなければならない場所について、主なものをあげてみると、次のようになります。

- ◆踏切  
踏切を通過しようとするときは、踏切の直前（道路標識等による停止線が設けられている場合は、停止線の直前）で一時停止し、安全確認をした後でなければ進行できません。ただし、信号機が設置してある踏切で青信号に従う場合は一時停止をせずに進行できますが、その場合でも安全確認は必ず行う必要があります（道路交通法第33条第1項）。
- ◆道路標識等で一時停止すべきことが指定されている交差点  
交通整理が行われていない交差点又はその手前の直近において、道路標識等により一時停止すべきことが指定されているときは、道路標識等による停止線の直前（道路標識等による停止線が設けられていない場合は、交差点の直前）で、一時停止しなければなりません（道路交通法第43条）。

**一時停止しなければならない場合**  
 一時停止しなければならない場合について、主なものをあげてみると、次のようになります。

- ◆歩道等を横切の場合  
駐車場など道路に面した場所に入出入りするために、歩道や路側帯を横切る場合は、それらの直前で一時停止しなければなりません（右図参照）（道路交通法第17条第2項）。
- ◆横断歩道等に横断歩行者等がいる場合

※前車に続いて踏切に進入する場合でも一時停止をしなければなりません。

**【歩道等を横切の場合】**

※歩行者や自転車がない場合でも一時停止しなければなりません。

一時停止

## 社内研修



## 洗車作業

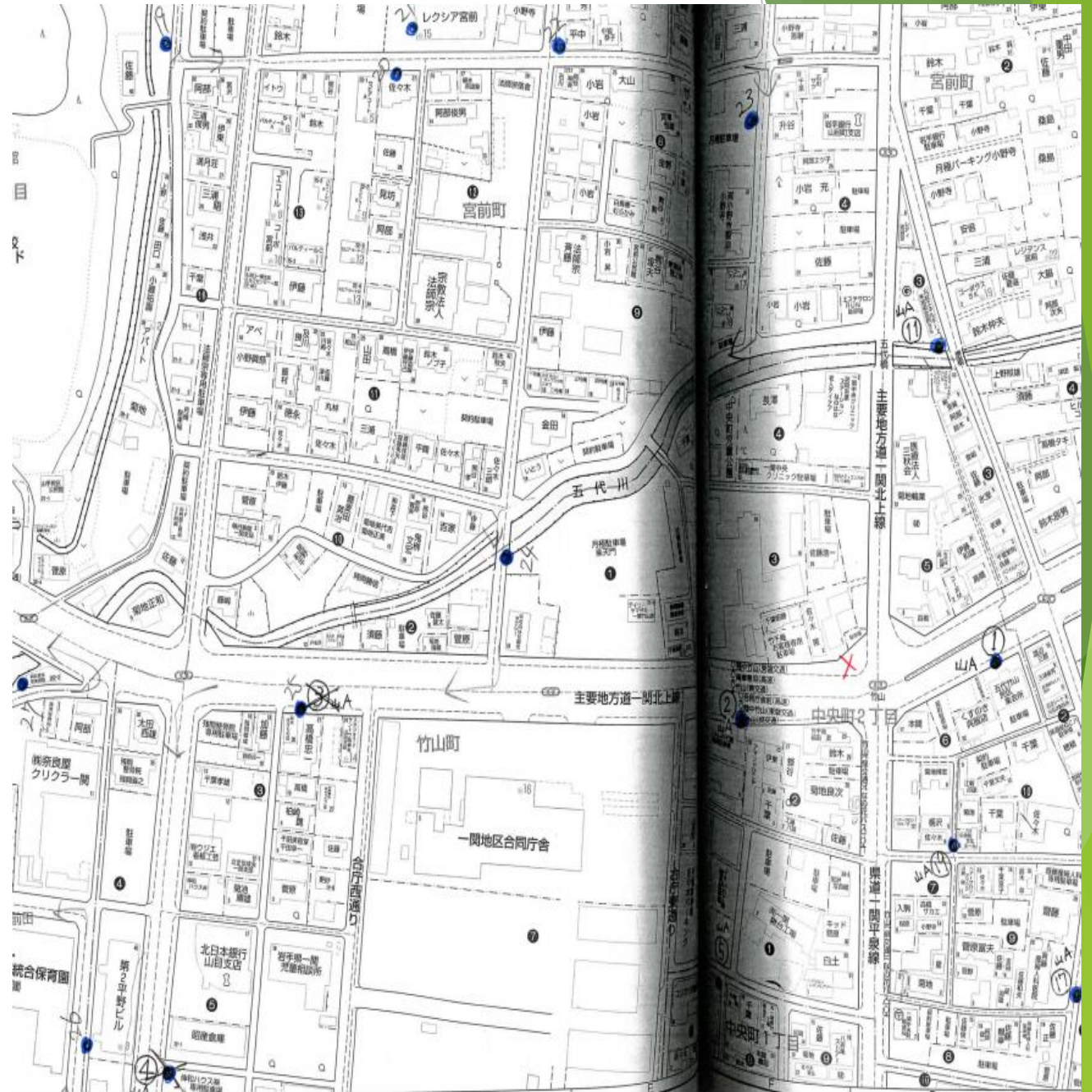
→ 商売道具は常にきれいに



# 集積所の見える化

- \* 既存集積所の把握・ルート of 可視化
- \* 新設集積所や危険個所の把握

- 収集箇所が多いので3ルートに分けて収集。
- それぞれの集積所に番号をつけその順番で回収するようにしている。  
→取り残しがないようにするため。
- 冬場危険な集積所は閉鎖してもらうようにしてもらっている。
- 見えづらい箇所や狭い箇所、実際事故があった箇所は赤で印をつけ、いつでもわかるようにしている。
- 新しく入った職員に教える際、同乗者によって回収ルートが違うということを防ぐ。



## 【その他の取り組み】

- ・勤務間インターバルの導入（2020年2月～）  
社員の健康確保とワーク・ライフ・バランス（仕事と家庭の両立）の実現のため、1日の勤務終了後、次の勤務までに一定時間以上の休息時間を設け、社員の生活時間や睡眠時間を確保し、健康維持を目的として、9時間の勤務間インターバルを導入しました。
- ・全車両にドライブレコーダーを搭載  
定期的に映像を確認してヒヤリハットや運転の状況などを確認しています。

## 【まとめ】

- ・従業員が安全にかつ健康に働けるようにするには、ハード面もソフト面も大事。
- ・職場環境と社員の意識が安全を左右する。